

平成30年度市政懇談会の主な質疑内容（唐桑地域）

<p>低年齢児保育施設の開所は平成 33 年度なのか。施設の種類は 0～5 歳児の認可保育所をお願いしたい。建設場所は働く保護者の利用を考え、通勤途中の燦さん館周辺が良い。</p>	<p>子ども家庭課長： 開所時期と種類は平成 33 年度から 0～5 歳児の認可保育所で進めています。場所は希望の多さと利便性を考え、燦さん館周辺を検討しています。さらにみなさんと意見交換していきます。</p>
<p>交通弱者対策について、住民や自治会から申し出や要望が出ていないか。BRT 唐桑大沢駅ができたが、その駅を利用するにも遠い。</p>	<p>震災復興・企画課長： これまで大沢地区などは大学と一緒に有償旅客運送を研究してきましたが、法律の壁などがあり実現していません。もう少し全国的な事例を検討していきます。</p>
<p>舞根地区は公共交通体系から外れているので、交通弱者対策のさらなる勉強会をお願いする。タクシーが 17 時以降、引き上げてしまう実態がある。業者に常駐をお願いできないか、また商工会で対応をお願いできないものか。</p>	<p>震災復興・企画課長： 夜間のタクシー事情は情報がありませんでした。情報共有するためにも勉強会を開いてともに考えていきますので、ご協力をお願いします。</p>
<p>気仙沼・唐桑最短道へのこれまでの運動報告を見た。現在、舞根峠の交通量が増えている、地元は怖い思いをしている。さらなる運動継続をお願いしたい。</p>	<p>三陸道・大島架橋・唐桑最短道整備促進課長： 地元のご意見は県に伝え、標識設置や部分改良などをお願いしています。引き続き、地区の要望を伝えていきます。</p>
<p>患者輸送バス制度は将来的に無くなるのか。患者の家が駐車場所まで遠いので、家の近くで乗せてもらうことはできないのか。</p>	<p>保健福祉部長： 唐桑地域の医療機関への足の確保として、現在のところ無くす予定はありません。患者輸送バスは、時間と場所を決め、定期運行しています。なお、駐車場所から自宅までの足の確保については、別途相談していきます。</p>
<p>気仙沼唐桑線は「主要地方道」という位置付けだが、車のすれ違いが大変であり、大型観光バスなどが通れない。</p>	<p>三陸道・大島架橋・唐桑最短道整備促進課長： 県では、まだ震災復興と大島架橋が優先されています。しかし、事業化に向けて優先度を上げるために運動していきます。 市長： 11 月 26 日県知事に要望してきます。要望方法など、いろいろみなさんと相談していきます。</p>

<p>保育園など、子どもが利用する各施設に十分な駐車場が無い。駐車場が離れた施設もある。交通安全上、十分な確保をお願いしたい。</p>	<p>子ども家庭課長： 古くに整備した施設もあり、駐車場が狭いために付近の方々へご迷惑をおかけしている事を把握しており、検討していきます。新たに整備する施設については、十分に整備していきます。</p>
<p>集会施設の管理運営と指定管理について、今回、原案が示されたが、まだ合意形成されておらず、唐突な提案だと思う。合意された順に指定管理を進めていくのか。施設改修は毎年1館だけ行うのか。条例改正案を12月議会に提案する予定のようだが、受け皿となる地区の準備ができていない。</p>	<p>地域づくり推進課長： 指定管理については、唐桑地域全体の意見を尊重します。受け皿作りは市でも協力していきます。 市長： 合併時の約束が進んでいませんでしたので、施設の1世帯当たりの管理費用の負担などを調査し、負担の増加のお願いと建物の改修をセットで提案しました。改修だけなら1年に複数できると思いますが、建て直しとなるとそうはいきません。負担の増加や管理人などについては段階的に対応していきます。条例案は12月で提出したい。受け皿は、今後地域に入って話し合いをしていきます。</p>
<p>公民館のまちづくりセンター化について、先進地である一関市と意見交換をしてきた。市では「段階的にゆっくり進めたい」方針だが、若者が移住して頑張っている唐桑地域は、まちづくりセンター化に合うと思う。市内の公民館、一斉にではなく準備が整い次第、進めてほしい。</p>	<p>市長： 力強いご意見ありがとうございます。一方で簡単には受け入れできず、受け皿が整っていない地域もあります。まず、まちづくり協議会を作ってもらうなど、できるところから始めます。市は継続的に支援します。条例や機構の見直しも必要ですが、方向性は同じと思うので具体的に相談していきます。</p>
<p>唐桑オルレコースにトイレがありません。緊急避難時の案内もありません。また、松くい虫被害で倒木の危険性もあります。早急な対応をお願いします。</p>	<p>観光課長： トイレは観光協会と対応策を検討しています。緊急避難は、現在地が分かるマップを渡す予定です。警察や消防にも利用してもらい、位置の特定に役立たせます。松くい虫対策は農林課と連携し対応していきます。倒木があればすぐに対応しますので、連絡をお願いします。</p>
<p>浦地区の防潮堤工事が途中で止まっている。子どもたちが近くに住んでいるので、工事現場の安全対策をお願いします。</p>	<p>産業部参事兼水産基盤整備課長： 請負業者の倒産により工事が止まっています。別の業者が見回りし、安全点検をしています。不十分なところは、すぐに対応します。</p>